

INFORMATION



迷ったら前へ

NPO法人 塩浜学園
FREE SCHOOL
GENKAI

フリースクール **玄海**

<http://genkai.or.jp>

1日のスケジュール

- 6:25 起床・洗面
- 6:30 体操・ジョギング・アフメーション
- 7:10~ 朝食・片付け
- 8:30~ 9:00 写経
- 9:10~ 9:30 徳育
- 9:35~ 9:55 読書
- 9:55 朝礼
- 10:00~10:45 授業①
- 10:55~11:40 授業②
- 11:45~12:15 坐禅
- 11:45~12:15 昼食準備
- 12:30~13:00 昼食・片付け
- 12:30~13:15 昼休み
- 13:15~13:30 下坐業
- 13:35~14:35 授業③
- 14:45~15:55 授業④
- 16:10~18:00 クラブ活動
- 18:00~18:30 夕食準備
- 18:30~ 夕食・片付け
- ~20:00 門限
- 19:00~20:30 入浴・自学自習
- 21:00~ 自省
- 22:00 他室訪問禁止
- 22:30 消灯

※12月から4月までの間は、冬時間割(30分遅く)となります。



● 体操



● 食事



● 下坐業



● 坐禅



● 写経



週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土
	中学 高校	中学 高校	中学 高校	中学 高校	中学 高校	中学 高校
1限	英語 数学	漢字検定 英語 数学	国語	社会	ICT	英語 アリス ト
2限	数学 英語	理科 ICT	数学 英語	英語 素読	徳育	英語 アリス ト
3限	ダンス	英会話	ボクシング	総合	プロレス	
4限	体育	英語検定	体育	演劇		



● 英語 (月曜日)



● ダンス (月曜日)



● 演劇



● 英語

クラブ活動

ボクシング (スタービー)

スイミング (はるおカスイミングスクール)



● ボクシング (スタービー) (水曜日)



● プロレス (九州プロレス道場) (金曜日)



4月



5月



6月



海の中道さわやかマラソン大会



後期合宿



トライアスロン大会



7月



10月



9月



8月



11月



イギリス・オックスフォードダンス発表会



演劇発表会



12月



1月



2月



3月

年間のスケジュール

- 4月 授業スタート
- 5月 前期合宿、GW休暇
- 6月
- 7月 沢登り、トライアスロン大会
- 8月 親子ソフトボール大会、高卒認定試験、夏期休暇、母の会
- 9月 授業スタート
- 10月 後期合宿、海の中道トライアスロンフェスタ
- 11月 一燈園研修
- 12月 餅つき大会、冬期休暇
- 1月 授業スタート
- 2月 スノーボード旅行、ロードレース
- 3月 立志式、プロレス大会、春期休暇

フィリピンボランティア

私は、今年の4月から10月の間、公益財団法人オイスカの農業ボランティアの研修生として、フィリピンで農業ボランティアと語学研修に行ってきました。

そこで、最初に不安を感じたのが語学です。僕は英語が苦手なので必死に勉強をしました。

フィリピンでは最初のうちは話せない状態が続いていましたが、2ヶ月を過ぎたあたりから段々と英語を覚えてきて、4ヶ月目からは日常会話には不自由なくなりました。

オイスカでは、蚕の世話をし、桑の葉を育てて、育てた桑の葉を食べさせたり絹を作ったり、洋服をあつらえる直前までさせて貰えました。

また、研修中は現地の高校、大学にも行かせてもらいました。そこで英語を交えながらの交流ができたので、とても楽しく勉強になりました。

フィリピンはとても気温が高く、最初はつらいところもありましたが、この研修は英語を学びながら人の為になることもできたので、私にとっては一石二鳥になりました。本当にありがとうございました。

M・S(高校3年生)



卒業後の進路・合格実績(過去4年間)

- H25年…………●大分竹田南高校 ●佐賀龍谷高校 ●熊本マリスト学園 ●星槎国際高校
●城西大学 ●日本経済大学
- H26年…………●大分竹田南高校 ●佐賀龍谷高校 ●ニュージーランド語学学校
●阪南大学 ●日本経済大学
- H27年…………●大分竹田南高校 ●星槎国際高校
●青山学院大学
- H28年…………●佐賀龍谷高校 ●熊本マリスト学園 ●一燈園高校
●熊本学園大学 ●京都産業大学 ●立命館アジア大学 ●九州国際大学 ●九州共立大学
●福岡農業大学校

よくある質問

全寮制について

生活リズムの確立や仲間をつくるのが容易になります。何より親元からはなれて生活することで、精神的自立が促進されます。自分が自分らしくあるためには、依存心をとることが必要です。

食事について

朝・夕食は栄養のバランスを考えて作られます。昼食は生徒達がメニューを考え、自主的に作ります。交替で食事作りに参加してもらいます。少食・過食・偏食を直すのに効果があります。

高卒資格について

通信制高校での単位取得を通じて高校卒業資格取得を行います。一般には自宅学習の生徒はレポート提出や出席の継続が本人の自覚では厳しく、卒業まで達するのは全体の約3割と言われています。スクールでは100%卒業を指導していきます。

規則について

団体生活では必ず規則があります。個人の確立と集団に属したいという気持ちは矛盾するものではありません。本当の自由は、自律心(規律)の中から生まれてくるものです。本人が納得するまで辛抱強く、理解できるまで話していきます。

帰省・休暇について

毎週日曜日は休みとなります。帰省は月1回、許可を得て帰省することになります。春・夏・冬の休暇は自宅での生活となります。

卒業認定について

卒業認定試験の合格は、高卒資格と同等の社会的認知を得ています。8科目の合格レベルは難しくありません。通信制高校履修と併行して合格を目指します。

期間について

生徒一人一人条件が違いますが、目安として中学生は1年以内に復学できるように、高校生は1年~2年で自宅に帰れるようにしていきます。十数年をかけて出来上がった性格・人格を考慮する時、多少の時間がかかるのは当然ですが、出来るだけ早くと期しています。

宗教について

スクールでは特定の宗派に属しているわけではありません。祖先や父母に畏敬の念を持つことは大切なことです。儒教・儒学からの徳育を指導の芯にして、禅宗の坐禅も心を整えるために取り入れています。

大学受験について

専門学校や就職などさまざまな進路選択を考える時、大学受験をその難しさからあきらめる人がいますが、自分を見つめる時間・空間として大学生活を勧めます。推薦入試や一芸一能入試、AO入試など入試形態はいろいろありますので、自分に適した方法で大学を選択し、受験することを勧めています。

父母の声

「一年間を振り返って」

鹿児島県在住の母

昨年の三月には玄海残留を決めた息子は、先輩方が立派な仲間もこの一年で次々と卒業して行く中、自分がみんなを引っ張っていかねばいけない責任を感じながら過ごした一年だったと思います。

「一年間を振り返って」とのことです。親の私も二年目ともなると何の心配も不安もなく、息子の更なる成長と新しく入って来た子たちが変わっていく様、LINEや行事で会うママたちとお喋りをただただ楽しませて頂いた一年でした。以上、ではつまらない内容で二分の一枚で終わってしまったので、一昨年を振り返ってみることに…。

GWに私の両親を連れて玄海を下見、五月末に体験入寮決行「六月に正式入寮。この時、相母は孫可愛さから「なんにもこんな所に入らなくて…」と、強制入寮させた私を恨んだらしいです。

入寮から一年経った頃、相母と息子と私と三人で温泉に一泊したことがありました。この時、息子が色々な話をしてくれました。

「入れられた時は本当に恨んだよ。だけど二〜三ヶ月経った頃、考え方を変えた。ここで如何に楽しん過ごすか!に…」それからは、先生方の教えや共同生活、行事ごとの中で、己の甘さや感かさに気づいていったようです。そして、「玄海に来て本当に良かった。」とも話してくれました。

半年過ぎた頃から、明らかに表情・行動・言動に変化が見られるようになりまして、私の心配と不安が少し減っていったのもこの頃からだったかもしれません。

息子が祖父に「玄海に入れてくれたお母さんに感謝している。」と話したことがあったそうです。

いろいろな体験をし、貴重な経験を積み、先生方の熱心なご指導のおかげで、息子は本当に変わることが出来ました。心から感謝申し上げます。

「こんな所で二年近くも頑張った息子は本当に凄いです。追記、四月から車をぶつ飛ばして福岡に行く楽しみが無くなるかと思うと淋しくてなりません。

立志式後の帰りの車の中で息子がこんな事を言っていました。

「大概の人がフリースクールに居る事、居た事を恥ずかしく隠したがるけど、今の俺は玄海で学んだ事、課された事をやり抜いてきた事に自信と誇りに思う。だから、履歴書に堂々と「フリースクール玄海」と書く。」と…。

「一陽来復」

広島県在住の父

作文をご依頼いただき、玄海と知り合える前の日記を改めて読み返してみました。当時、息子が2の中2の秋のことです。完璧な不登校になってしまい、ネットや書籍を参考にしたり、行政機関、学校、思春期外来の病院等に相談したりしたものの、評論のような話ばかりで、彼の十代という大切な時期が刻一刻といたずらに過ぎていくことに対する焦燥感や絶望感が、毎日のように擦られています。

こうして日記を読み返してみると、親にとっては今の生活が夢のようなものであることを再認識させられました。人間とは欲なもので、息子の今の生活態度に不満を抱いていましたが、おかげさまで登校は続けられていますし、4月には高校に行けることが決まっていることはとても幸福なことです。玄海との出会いがなければ、今も不登校のままだったかもしれませんし、家族も今の元気を取り戻せないままだったに違いありません。

息子は不登校という選択をしたばかりに、辛く、苦しく、ちよびり楽しい数ヶ月を過ごすことになったわけですが、不登校に伴う一連の経緯が普通に学校に行っていたら得難い機会と気づきを与え、勇気や元気を蓄えてくれた素敵な体験や経験を、これからの希望あふれる人生に活かしていかれることと信じています。

また、息子が不登校になったおかげで、私たち夫婦も玄海とそれに関わる皆さんと九州に出会うことができたことを心から感謝しています。

不登校になるくらい特別な感性を持っている本人にとっても、登校や日々の生活はまだ辛く、苦しいことも多いのだと想像できますが、玄海での様々な出会いや経験が「今」を生きようとしている彼をパワフルに成長させ続けることとてです。

「雪に耐えて梅花麗し」

昨年引退した、元カーブ黒田博樹投手の座右の銘です。これは、黒田選手の厳しかった母親の影響があったと聞かれています。彼女は祖母の葬式に参列した。当時高校球児の黒田選手に式直後にこう言ったそうです。

「お前はすぐ学校へ帰って走ってこい。」と。

子どもたちには、勇気あふれる人間に成長してもらいたいです。玄海ボーイズに栄光あれ!

本当にありがとうございました。そして、これからも宜しくお願いいたします。

「玄海での一年間を振り返って」

熊本県在住の父

ここに來られた皆様には、具れ相当の理由があったと思います。理由はどうあれ、玄海しか頼る所がなかったし、こんなフリースクールがあるのを誰も教えてくれませんでした。

やっとの思いで探し当てた場所。見学で玄海に夫婦で訪れた土曜日、帰省してない重達を見て「何で、こんなに素直な重達がいるの?」。初めで玄海を訪れたご父兄は、同じ印象を持たれたと思います。嶋田先生とお話の中、子供を溺愛し口煩い母親、親に依存しながら欲求ばかりの子供、仕事を頑張っても通くからしか見ない父親…。固直でした。

施設を案内され、最後に階段を降りた所に、話が置いてありました。ここでは踏で乗れる車はいないんだ、と思い、入学を決めました。その時は息子は熊本県思春期精神科病院に入院中でした。そこは、薬と閉じ込めの世界、息子がいる所ではないと思っていましたが、そうしなければ母親、弟の命さえ危惧される状況でした。体験を終わら、一燈園の前日に脱走。当日朝、嶋田先生、山本先生に迎えに来て頂きました。恐怖から開放された思いでした。

それからは息子も変わりました。玄海には総合失調症の子はいないということです。今、はっきりと言えますが、嶋田先生は誰でも受け入れる事はしないです。安心して息子をお任せしました。それからは息子は息子の変化する姿に、驚き、涙しました。演劇、祐徳ハーフ、プロレス、トライアスロン、どれも応援し、感動と達成感を共有できたのは、玄海にいっぱいこぞです。

息子は玄海に任せて大丈夫。ここから父兄との繋がりが一番の安心でした。父兄会でおいいたり、ラインでも頻回にやり取りが入れ、今も助けられています。立志しても家に帰れば性格は変わりません。

先日、中学をクラスメートと笑顔で卒業できたのも、玄海あってのことです。いろいろな行事で息子、他の玄海の優しい重達の写真を撮った一年でもありました。レンズ越しに立く事もいっぱいでした。それは、息子だけでなく、玄海の重達を見て涙が出ました。皆、もがいて、前に進もうとしていました。自分でもいっぱい写真を撮ったけど、一番のお気に入りがあります。それは、夏の休日でしょうか、奈多海岸からの松林の中、三人の重達たちが歩いている写真です。おそらく山本先生が撮ってくれたのでしよう。S君の横に息子が寝そそりに話しかけています。その横に君が、ちょっと微妙な距離です。息子の左手には水中メガネ、右手には、あの話を持って、魚取りに行った帰りのようです。大丈夫!と思いました。

生徒達の声

「フリースクール玄海に来てから」

A・S(高校1年生)

今年の3月19日に、僕はフリースクール玄海を立志します。一昨年の6月に入寮してもう2年近く経ちました。自分でも最初の方に比べて、肉体的にも精神的にも少しは成長できたと思います。周りの人達にも言われると自信もついてきます。

玄海生活では、まず運動から始まります。朝は2kmのジョギング、ボクシング、水泳の部活動、マラソン練習等、他にも色々な運動もします。皆、運動をしていくにつれて、肉体も成長して自信ができてきます。

父もこんな事を言っていました。「体を変えれば、心も変わるぞ」。僕はこれを聞いて同じ考えだと思いました。だから玄海で運動をさせてくれた事は本当にありがたいと思いました。

自信がつくのは良い事なのですが、つきすぎると天狗になってしまうことがあります。僕もなってしまう時。そんな時に、それは違う事を気づかせてくれたのは、一燈園研修で学んだ下坐業でした。自信がついて威張っていた僕に、山本先生がいつも「天狗になったらいかん。へりくだる事が大事や」と言ってくれました。そのおかげで僕は自分の高く伸びた鼻を折ることができました。だけどまだ天狗になってしまう所があるので、これからも成長していきたいと思っています。

そして何より、玄海に入れる事を決意してくれた親には本当に感謝しています。楽しい玄海生活をありがとうございました。

「立志」

T・A(中学3年生)

私は、この玄海生活を通して、自分で学んだことと、もらい受けた言葉を含めた学びの二種類がありました。

入った最初の頃、一週間ぐらいの時に私は今までの楽な生活に縋ってしまっていた。そのためには何でもする、その時の気持ちは思い出さなくなりましたが、とにかく必死だったと思います。それを今、振り返って、もしそこで逃げていたらと想像して、こんな怖いことはないと考えます。(どっちにしろ逃げられなかったけど)。これが学んだことの一つで、自分のごほうびに甘えてしまったら今の自分はいなかったわけで、いつか気づかないうちに後ろの影に引きずり込まれてしまうかと思ってしまう。そうならないように逃げるように生きているのは何だか嫌なので、新しい景色を見るために走り続けるというイメージで日々生きています。文章が抽象的になってきたのでまとめます。要するに、逃げるという行動は悪いことではないけれど、自分の可能性を捨てず、とりあえず試してみる事が大切だということです。

もう一つの学びは、最後の夜の話で、山本先生が習字で「計(けい)を愉(たの)しむ」という言葉を書いてくださいました。計るというのは、優劣を見るということで、自分と他者の得意不得意を受け入れるという意味なのですが、良い自分、悪い自分、良い他者、悪い他者の全員を信頼することが、この言葉に込められていると自己解釈しました。良い自分を認めることは容易ですが、悪い自分を信じることは勇気があることだと学びました。それを、最後の日の夜、布団でずっと考えていました。テーマの「立志」からかかるとなりましたが、原稿用紙が何枚あっても足りないのので、これで終わります。

「一年間を振り返って」

S・K(中学3年生)

僕はこの一年で、協調性や自律性など色々な事を学びました。例えば、二泊三日の芸北国際スキー場でスノーボードをした時に、上級者コースに行くと、Nさんと滑った時に協調の大切さを学び、もっと深く関係を結ぶことができました。また、家に引きこもっていた時は、親にまかせきりで、食事の手伝いや洗濯をしていませんでした。でも、この玄海に来て、一人で洗濯などができるようになり、自律性を学ぶ事が出来ました。

その他にも玄海に来て感謝する事が多くあります。例えば、ボクシングの西重コーチからは、どんなに強い相手だろうと立ち向かう勇気と根性を学びました。また、社会と徳育を教えてくださいの川上先生からは、これからの人生に必要な、自分と人の関わり合いなどの知識などを学びました。他の先生や親に対する感謝もあります。

祐徳ロードレースの21kmはきつかったけど、達成した時はとても嬉しかったです。この嬉しさが出せるように、高校生活も頑張りたいです。

これまで玄海で過ごし、学んだ事は忘れません。玄海生活で学んだ事を活かし、これからの未来につなげていきたいです。

「一年間を振り返って」

T・N(高校3年生)

私はこの一年で自立することができました。今まで家にいた時は、自分一人では洗濯はおろか食事を作ることもできませんでした。しかしこの一年でたくさんのご経験を、洗濯も料理もできるようになりました。

またこの他にも、トライアスロンでは最後まで物事をやりぬく根気強さ、一燈園で学んだ人の手伝いをする奉仕の心、本当に色々なことを学びました。

この一年で、人とのふれあいの大切さを学ぶことができました。玄海では色々な人と関わりを持ちました。ボクシングの西重コーチ、プロレスの板島先生、野崎先生、マージャンの白野先生、演劇の森先生、どの先生も、自分の道をつらぬいたすばらしい先生でした。その先生方に教えてもらうことで、たくさんのかや生き方を学ぶことができました。本当にありがとうございました。

友人関係についても多くのことを学びました。人は運動においても勉強においても競い合うことが大切であり、また同時に認め合うことも大切であると深く感じました。人間関係の重要さも学びました。人一人では生きていけません。食事当番、下坐業、そして様々なイベントも一人ではできないし、成功もしません。一致団結してこそ達成できるんだなと思います。そのような事も踏まえて、大学生活でも玄海で学んだことを活かして頑張ります。

無料相談会・一週間体験入学 随時受付中!



● 駅からのアクセス

JR鹿児島本線(下関・門司港～博多)／古賀駅 徒歩27分(約2.1km)
JR鹿児島本線(下関・門司港～博多)／千鳥駅 徒歩30分(約2.4km)
西鉄貝塚線／花見駅 徒歩34分(約2.7km)

● バス停からのアクセス

西鉄バス 133「新原」徒歩5分(約330m)
西鉄バス 133「屋敷」徒歩6分(約420m)

● ICからのアクセス

九州縦貫自動車道鹿児島線 古賀IC 車で4分(約1.5km)
福岡高速1号線 香椎東IC 車で22分(約8.6km)
福岡高速1号線 香椎IC 車で23分(約9.2km)

● 空港駐車場からのアクセス

福岡空港国内線駐車場 車で37分(約14.9km)
福岡空港国際線駐車場 車で42分(約16.9km)



NPO法人 塩浜学園 フリースクール **玄海**

〒811-3116 福岡県古賀市庄66-1

TEL 092-710-8517

FAX.092-710-8518

2017年4月 現在

[URL] <http://genkai.or.jp> [E-mail] info@genkai.or.jp